

2007.9.22

**特集1 ショパン：練習曲の魅力を探る**

**特集2 没後30周年のマリア・カラス**

\*\*\*  
**プログラム**  
\*\*\*

今回は、特集を2つ組みました。まず、“ピアノの詩人”ショパンの代表作の一つ“練習曲（エチュード）”から12曲を選び、その魅力を探って行きます。もう一つは、今年没後30周年を迎えた世紀の名ソプラノ、マリア・カラスの名唱をお聴きいただきます。特製ステレオでお楽しみ下さい。

\*\*\*\*\*

**フレデリック・ショパン（1811～1849）：**

**練習曲（エチュード）op.10～**

第2番イ短調／第4番嬰ハ短調／第6番変ホ短調／第8番ヘ長調／

第10番変イ長調／第12番ハ短調「革命」

**練習曲（エチュード）op.25～**

第14番ヘ短調／第16番イ短調／第18番嬰ト短調／第20番変ニ長調／

第22番口短調／第24番ハ短調「大洋」

マウリツィオ・ポリーニ（ピアノ）

（1972年録音/グラモフォン盤）

\*\*\*\*\*

**ジョアキーノ・ロッシーニ（1792～1868）：**

**歌劇「セヴィリアの理髪師」～今の歌声は**

マリア・カラス（ソプラノ）／トゥリオ・セラフィン指揮フィルハーモニア管弦楽団（1954年録音）

**ヴィンチェンツォ・ベルリーニ（1801～1835）：**

**歌劇「ノルマ」～清らかな女神よ**

マリア・カラス（ソプラノ）／トゥリオ・セラフィン指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団（1960年録音）

**歌劇「夢遊病の女」～愛する仲間の方々**

マリア・カラス（ソプラノ）／トゥリオ・セラフィン指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団（1955年録音）

**ジャコモ・フッチーニ（1858～1924）：**

**歌劇「トスカ」～歌に生き愛に生き**

マリア・カラス（ソプラノ）／ヴィクトル・デ・サバータ指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団（1955年録音）

\*\*\*\*\*

**【米倉ライフラリーから】**

**チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調～第1楽章から、第2楽章から、第4楽章**

小泉和裕指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

（1976.8.9 フェルゼンライトシュレーLive（ザルツブルク音楽祭より））

★一口メモ—1973年にカラヤン指揮者コンクールに優勝。76年にザルツブルク音楽祭でウィーン・フィルを指揮。27歳でウィーン・フィルを指揮したのは最年少記録でした。その時の“快演”をお聴きいただきます。